
俺らにきっと、愛はない

忍野八雲

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

俺らにきつと、愛はない

【Nコード】

N3342BA

【作者名】

忍野八雲

【あらすじ】

恋愛未満友情以上の物語。

一応、サイトでは人気が出てみたい。 腐女子間

「ええと、お願い。キス、しよう?」

「ハア1?」

眼鏡がずり落ちた。

俺、佐々木 利史はこのチビ（男）こと祐太と付き合っている。あ
あ、俺も男だ。

まず、付き合っているというところで疑問を持つかもしれんが、こ
れには事情がある。

数年前。

俺は普通の中学男子として祐太とつるんでいた。

別にどこの奴らとも変わらない馬鹿なことしてた、はずだ。

だが、俺らが卒業する時、急にこいつが告ってきた。

……初めは冗談だと思う。なんとなく、幼馴染に告られた奴とかの
心境だなと、思ったりもした。

だが、このチビはマジだったのだ。何度話しても、

「利史がスキ」

と繰り返す。

泣きそうになったり、ヤケになって叫んだり、結局そんな態度に俺はとりあえず半分しようがなく首を縦に振った。

そりゃあ俺は女子が好きだ。少し前までには、隣のクラスの安藤のことが好きだったりもした。まあ、卒業前日に付き合っていたと知っても、対して衝撃がなかったところを見ると大して好きだったわけでもないようだが。

それでも、女子が好きなのだ！！

そんな俺がなぜOKしたかというと、ここでいいと言ったらこいつとの友情がなくなる気がしたのだ。

なかなか出会えるもんじゃない良い奴だったし、こいつが適当な女子のことを好きになるまで付き合ってやるかみたいなの、連れシヨンに行くようなレベルだったんだ。

だが、高校2年夏現在になっても誰も現れなかったようで、さらには、俺自身もホモホモ言われるようになり、男女ともに出会いもクソもなくなってしまったようだった。

そんなときにこの発言。俺はメガネの位置をなしつつ悩んだ。

外国とかなら挨拶だし別にいいだろ、なんて安直な感じでいくと後戻りはできない。

正直孫の顔まで見たいのだ、一応。だが、ここでいいと言えば前向きにとれば、焦らしているとかにも見えなくはないが最悪振られる？、ということになる。

いいのか、これでいいのか！？なんて、今にもポツケからカードが出そうだよ！！

そんな俺を見て何か思ったのか、祐太は口を開いた。

「べ、別にいいからね？もう少し後でもいいし、それに、そこまでしたいとか思ってるわけでもないし……」

こいつが女子だったらしいのに、と祐太の俯き気味の中性的な顔が俺にそう考えよう仕向ける。

ハア……

「やれやれ」

俺は自分に言う。

……しょうがなくて。こいつはあくまで友達で、これは友情の中に含まれるものだ。

第一、こいつのがっかりした顔とか泣いてる顔が見たくない。

「祐太、顔上げろよ」

俺は祐太との身長含め40センチぐらいの差を少し焦らすようにゆつくりと減らしながら、コイツの紅潮しつつ目をつぶってる顔を見て、

（やべ、可愛いな）

とか思いながら、俺と祐太はいつもより密接に近づいた。

それから……。

「祐太、質問だ。なんで俺に告ったんだ？」

「ええと……。好き、だから？」

「バカ、そういうことじゃなくて。もっと明確なもんを聞いてんだよ」

「うーん、利史しかいないと思ったから。自分のことを受け入れてくれたり、利史のやることを自分はなんでも受け入れられる……とか、思ったからだと思うよ？」

「そうかい」

俺達は慣れた感じで……。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3342ba/>

俺らにきつと、愛はない

2012年1月8日18時47分発行